

作成日: 2014年5月22日

改訂日(V.2): 2014年12月17日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: 日農クリンチャーバスME液剤

会社名: 日本農薬株式会社
 住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル
 担当部門: 環境安全部
 TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
 e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
 緊急連絡電話番号:(平日) 03-6361-1426 (環境安全部)
 (休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)
 推奨用途及び使用上の制限: 農薬(除草剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可
 SDS番号: 508-53(M14-07)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	急性毒性(経口)	区分外	
	急性毒性(経皮)	区分外	
	皮膚腐食性・刺激性	区分外	
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B	
	皮膚感作性	区分外	
	発がん性	区分外	
	特定標的臓器(全身毒性)(単回ばく露)	分類できない	
	特定標的臓器(全身毒性)(反復ばく露)	分類できない	
	環境有害性	水生環境急性有害性	区分3
		水生環境慢性有害性	区分3

ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激
	水生生物に有害 長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き

【安全対策】

ラベルをよく読んでから、保管・使用する。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
 指定された個人用保護具を使用する。
 取扱い時には、飲食、喫煙をしない。
 必要な時以外は、環境への放出を避ける。

【応急措置】

眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗浄する。
 コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。眼の刺激が続く場合は、
 医師の診断/手当てを受ける。
 皮膚に付いた場合: 多量の水と石鹼で洗う。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

有効成分化学名：

- 1) ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート
(シハロホップブチル)
- 2) 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキシド=ナトリウム塩
(ベンタゾン)

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
シハロホップブチル	3.0 %	122008-85-9	4-(7)-1745	—
ベンタゾン	20.0 %	250757-89-0	8-(7)-44	—
〈その他〉				
メチルナフタレン	1.1 %	1321-94-4	既存物質	(4)-80
			化管法第一種指定化学物質	
有機溶剤、界面活性剤、 水等	残	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、医師の診断を受ける。

眼に入った場合：直ちに清浄の流水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。眼の刺激が続く場合には、医師の診断・手当てを受ける。

皮膚に触れた場合：多量の水と石鹼で洗う。

飲み込んだ場合：直ちに医師の手当てを受けさせる。可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示す。

5. 火災時の措置

消火剤： 噴霧放水、泡消火剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤：棒状放水

特有の危険有害性：本品は燃焼すると下記の有害なガス*が生成される可能性がある。
(*-硫黄酸化物、窒素酸化物、一酸化炭素)

特定の消火方法：消火作業は風上から行い、煙を吸い込まないように気を付ける。
周辺火災の場合には、周辺のタンク、設備、建物等に散水して冷却する。

消火を行う者の保護：燃焼生成ガスに暴露されるおそれがあるときは、陽圧型自給式空気呼吸器(MSHA / NIOSH 認定品もしくは同等品)及び全面形保護衣を着用する。

注意： 消火排水は公共下水道や河川等に流出させない。

6. 漏出時の措置

保護具： 漏出物取扱い時には適切な保護具を着用する。推奨品については『暴露防止措置』の項を参照のこと。清掃作業中に暴露された場合は『応急措置』の項に従い、行動する。

除去方法： 少量の場合は、ふき取り、多量の場合は砂・おがくず等に吸収させ、密閉できる容器に回収し、産業廃棄物処理業者への処理委託等により安全に処理すること。

環境への注意： 漏出物および清掃回収品は、公共下水道や河川等に流出させないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触を避ける。

環境に対する注意事項： 漏出物および清掃回収品は、公共下水道や河川等に流出させない。河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。

除去方法： 漏出物を回収し、回収または処分用の適切な容器に移す。

二次災害の防止策： 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： シハロホップブチル 未設定

許容濃度： 日本産業衛生学会 シハロホップブチル 未設定
ACGIH シハロホップブチル 未設定

設備対策： 取扱いもしくは保管場所に、洗眼設備および非常用シャワーを設置する。
保護具

呼吸器の保護具： 防塵マスク

手の保護具： 不浸透性手袋

眼の保護具： ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具： 耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 黄褐色透明水溶性液体

比重： 1.11 (20°C)

pH： 7.6

オクタノール／水分配係数： シハロホップブチル $\log Pow=3.31$ (25°C)
ベンタゾン $\log Pow=0.77$ (pH 5)

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の条件下では安定

反応性： 通常の条件下では安定

危険有害な分解生成物： 燃焼より、有害なガスが生成する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD ₅₀ (ラット)	2286 mg/kg (雄雌)	GHS 分類： 区分外
	経皮 LD ₅₀ (ラット)	>2000 mg/kg (雄雌)	GHS 分類： 区分外
刺激性	皮膚刺激性 (ウサギ)	軽微な刺激性あり (48 時間以内消失)	GHS 分類： 区分外
	眼刺激性 (ウサギ)	軽度な刺激性あり (4 日までに消失)	GHS 分類： 区分 2B
皮膚感作性	皮膚感作性 (モルモット)	陰性 (Buehler 法)	GHS 分類： 区分外

生殖毒性・変異原性 シハロホップブチルは、動物実験で繁殖毒性、催奇形性、変異原性を示さなかった。

発がん性 シハロホップブチルは、動物実験で発がん性を示さなかった。

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) データ不足により分類できない
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) データ不足により分類できない

1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害性 LC ₅₀ ・96hr(コイ)	17.7 mg/L	GHS 分類: 区分 3
EC ₅₀ ・48hr(オオミジンコ)	118 mg/L	GHS 分類: 区分外
EbC ₅₀ ・72hr(藻類)	27 mg/L	GHS 分類: 区分 3

1 3. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない

輸送時の安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

1 5. 適用法令

農薬取締法

毒物及び劇物取締法 シハロホップブチル-劇物・除外品目(指定令第2条)

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

シハロホップブチル 1種 361
 メチルナフタレン 1種 438

1 6. その他の情報

参考文献: 安全データシート「クリンチャーバスME液剤」(ダウ・ケミカル日本(株) 2014年1月6日改訂)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。